



食物アレルギーの話

問 稲城市保健センター

☎378-3421

食物アレルギーは近年増加の一途をたどっています。小児の食物アレルギーの有病率は約5〜6%です。東京都には14歳以下の子どもは約150万人います。するとざっと見積もって、14歳以下の食物アレルギーの子供は約7・5万〜9万人いると推測され、すごく多い事が分かります。

小児の食物アレルギーに多いのは卵、牛乳、小麦がほとんどです。しかし、最近の調査では1歳の子どもの第4位は魚卵です。魚卵を1歳で食べるといのは驚きです。正確なデータはありませんが、イクラがほとんどです。イクラは食中毒を起こすものでもありませんので注意が必要であり、1歳の子どもには勧められないでしょう。思い出してみてください。イクラなんて昔は高級品で食べさせてもらえませんでした。しか

し、現代では98円均一の回転寿司があります。高級品であったイクラは98円で食べられるのです。だからと言って、そんな小さな子どもに食べさせて良いわけはありません。

東京は恵まれており、石を投げればアレルギーの専門医に当たるほどいます。東京にアレルギー学会認定の専門医だけでも47人います。小児科医は149人です。稲城市は東京23区からすると西に位置し、すぐ隣の山梨県では、いつも私が通勤で使う是政橋からはきれいな富士山に手が届くくらい近くに見えますが、アレルギー専門医は全ての科を合わせても12人で、小児科に至っては1人しかいません。

さて、アメリカの食物アレルギーガイドラインから面白い報告があります。患者さんから申告されたものを含む、食物アレルギーが疑われた50〜90%は食物アレルギーではないと診断されています。あなたの食物アレルギーは本当ですか？この溢れているアレルギー専門医を活用しない手はありません。

稲城市医師会 井上直之

いのうえ

なおゆき